ニュースレター
スマイル
No. 8
ＮＰＯ法人 スペシャルオリンピックス日本・岩手

発行日：2017年１２月
発　行：NPO法人
ｽﾍﾟｼｬﾙｵﾘﾝﾋﾟｯｸｽ日本・岩手
広報委員会
事務局：盛岡市紺屋町4-24
ＴＥＬ：019-613-5277
ＦＡＸ：019-613-5277
E-mail：son_iwate@son.or.jp

スペシャルオリンピックス（SO）は、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。活動を通して彼らの自立と社会参加を促進し、生活の質を豊かにすることを目的に活動しています。また、SOではこれらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを"アスリート"と呼んでいます。

ご挨拶
「　新しい動き　」

NPO法人
スペシャルオリンピックス日本･岩手
理事長　平野　ユキ子

早いもので2017年も、あと少しです。今年は、よい意味でフレッシュな風が吹いた一年でした。

今年は かねてから念願の新入会員募集を行いました。そして １１ 人のアスリートの入会がありました。これからは新しい会員の方々と共により良いSON・岩手を目指して参りましょう。SON・岩手の活性化のためにこれからも会員を増やすことを目指します。

また、今年は北上にブランチを作る動きを始めたのですが、そのアプローチの甲斐があって、日常プログラムに北上のアスリートが増え、そして地区大会にも北上からの参加者がありました。来年はもう少し参加者が増えるよう繋がりを密にしていきたいと思います。

ボッチャ交流会は、今年から新たに仁王小学校の体育館で行いましたが、とても楽しい交流会となり大変好評を博しました。これから毎年仁王小学校の体育館をお借りできる事になったので、来年はもっと発展させて良い地域交流ともなるように頑張りましょう。

スポーツプログラム以外にも新しい動きがありました。中でも有森裕子理事長の講演会を実施できた事は良いトピックでした。その際にマスコミや県庁の当該部署にお声がけをした所、多くの来賓がいらして下さったことは嬉しい出来事でした。これまでもお声をかけていた保健福祉部と教育委員会のほか、今年から新しく出来た文化スポーツ部へも働きかけたところ、其々の部署から来賓としておいで戴く事が出来ました。その流れで地区大会の水泳競技会とボウリング競技会、そしてボッチャ交流会にも各部署から来賓があり、大会に弾みがつきました。これまでの地道な働きかけが実って認知度が上がったと実感出来ました。

更に今年はJAFAさんやトヨタレンタリース岩手さんなどからお声がかかり、その講演会に参加して、SON の活動を地元に紹介する機会が得られた事も発展的トピックでした。これまで、機会をとらえてはSOについて講演や紹介などをして来たのですが、それが実って来たなと感じています。SOの認知度が少しずつ上がっていると感じられるのはとても嬉しいものです。

この様に、良い意味で今年はフレッシュな風が発展的に吹いた年となりました。

これからは更に肝心の『スポーツプログラムの充実』を図りたいと思っています。アスリートが増えた事でコーチも増やさなければなりませんし、また岩手ならではの冬のスポーツも充実させなければと思います。

そして来年は夏季ナショナルゲームが名古屋で開催されます。四年に一度、翌年の国際大会の代表選手選考を兼ねて行われる大きな大会です。岩手からの参加選手もエントリーされています。来年はもっとみんなで「SON・岩手」の発展を願って共に励んで参りましょう。

2017SON・地区大会・記録会
（記事は２～３ページに掲載）

SON有森裕子 理事長チャリティー講演会
（記事は４ページに掲載）

2017ボッチャ交流会
（記事は５ページに掲載）

地区大会開会式・水泳競技会（実施日１０月８日）

阿部　眞喜子　ヘッドコーチ

10月8日、盛岡市総合プールを会場に第3回岩手地区大会、開会式終了後、水泳競技会をアスリート27名の参加で開催されました。

昨年は、岩手国体の開催があり水泳競技会ができず、一昨年ぶりの大会となりました。アスリートの中には初めての参加者もいて、不安そうな表情も見られましたが、皆さんが日頃の練習以上の力を発揮し、一生懸命泳ぐ姿が印象的でした。表彰式ではメダルを首に掛けてもらうと、とても嬉しそうでした。

運営に関しても３回目となり、水泳連盟さん、水協さん、体育協会さんのご協力を頂き、以前に比べスムーズに運営することが出来るようになりました。

ボランティアの皆さん、コーチ、ファミリーの協力により成功のうちに終わることができました。この場をお借りし、競技会に関わって下さった皆様には心より感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

ボウリング競技会（実施日１０月２２日）

小野寺　弘純　ヘッドコーチ

2017年度ボウリング競技会が10月22日に中野一丁目の盛岡スターレーンで行われました。

ボウリングプログラムの活動をしているアスリート男女5人が出場したほか、今回は北上地区から菊地弘さんが特別参加。３ゲームの合計得点で順位を競いました。学生ボランティア７人がストライクやスペアが出るたびにアスリートにハイタッチで元気よく声援を送り、笑顔溢れる会場は大いに盛り上がりました。

ゴルフ　プログラムと記録会（実施日9月９日）

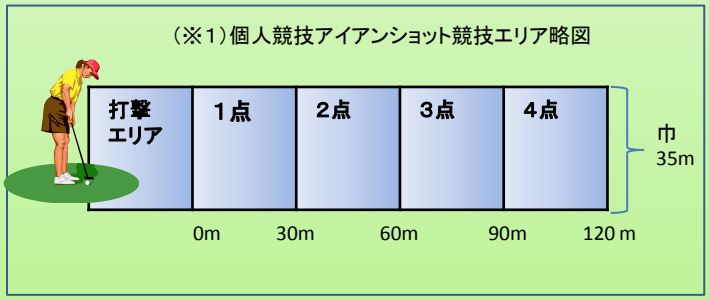
高橋　精一　ヘッドコーチ

ゴルフをご紹介します。ゴルフは楽しいスポーツです。小さい子からお年寄りまで、男女の別なく幅広く競技が楽しめます・・・。とよく言われますが、そうは簡単ではありません。最初は地面に置いたボールに、細い棒状の「クラブ」の先端部「ヘッド」で打とうと思ってもなかなか当たってくれません。これは誰でも同じです。告白すると３０年前の自分も一緒。ところが練習を積み当り出すとその魅力にはまって行きます。

ＳＯＮ・岩手では３年前から取り組んでいます。現在アスリート４名です。活動はアイアンクラブでボールをうまく捉え遠くに運ぶことを体感してもらうことに主眼を置いています。

３年目の終了時に、ＳＯ公式種目に定められた個人競技レベル11ｆアイアンショット(※1)での記録を試みにとってみました。これは巾３５ｍのエリアで５回打ち、打席から当たれば１点、３０ｍを越えて60mまでを２点、同様に60mから90mまでを３点、90m越えを４点と数え得点を競うものです。結果は４点から最高６点でまだまだ伸び代が充分あり、今後は記録会を催し、それを目標に技量向上をはかって行きたいと思います。

アスリートの皆さん参加してみませんか。　　～楽しいですよ～



バスケットボール　記録会（実施日5月２８日、１２月１０日）

菊池　昇　ヘッドコーチ

バスケットボールプログラムは月2回、大船渡市　福祉の里センターを会場に行い、8回のプログラムの後、記録会(計測)を実施。簡素ではありますが記録証も渡しています。前回の記録と比べてはアスリート同士で声を掛け合い、笑い声も聞こえ、微笑ましい光景です。

就労先でもＳＯの話をしているそうで、利用者のみなさんからの応援もあると聞いています。今後もゆっくりで良い、継続してアスリートとの時間を楽しんでいきたいと願っています。

岩手のアスリート万歳！

陸上競技　記録会（実施日１０月２１日）

阿部　均　ヘッドコーチ

「2017年度　陸上競技プログラムを振返って」

今年度の陸上競技プログラムは、ふれあいランド陸上競技場を中心に、5月21日から10月21日の記録会(記録証配布)まで延べ9回活動したところです。始まりは7名のアスリートで、7月上旬からは13名のアスリートと、顔と名前が一致するまで、少々時間を要しましたが、嬉しい悲鳴というか激動の年となりました。

プログラムでは、最初にアスリートの『走・跳・投』を記録し、これを基にどう記録が変化したかを可視化し(記録表を作成し、アスリートに配布)、自分自身の記録向上への挑戦を目指すことを常に心掛け指導してきたところです。

活動に際しては、ファミリーの皆さんの協力のもと、共に汗を掻き、アスリートの笑顔で癒され感謝、感謝です。

皆様、一度体験して見て下さい。

チャリティー講演会
「スペシャルオリンピックスと私」SON理事長 有森裕子講演会

SON・岩手チャリティー講演会「スペシャルオリンピックスと私」SON理事長 有森裕子講演会が　2017年8月9日(水)13：30～　おでってホール(プラザおでって３F)で開催されました。
当日の参加者は約230名で、ご来賓として岩手県庁や盛岡広域の市町村から6名ご来場いただきました。

【１部　講演会】

「私は先天性股関節脱臼で運動を十分にできる体ではありませんでした。でも、母をはじめ多くの人々の励ましを受けてマラソンランナーになることができました。周囲の支えやチャンスがあれば、人は何にでも挑戦して変化を起こすことができます。誰もが当たり前に共生できる社会をつくっていきましょう。」
有森裕子理事長の飾らないお人柄と魅力溢れる講演でした。

田口絢子副理事長とアスリートの佐々木陽右さん、菅野一馬さんが進行役を務めました。

参加者の皆さんからの感想：

○スペシャルオリンピックスのことを初めて知りました。スペシャルオリンピックスの意義や活動内容を理解出来て良かったです。
○機会(チャンス)を与える事の重要性を伝えて下さりありがとうございました。
○司会や講演会の運営に沢山のアスリートが関わり、立派に努めていたことに感動しました。
○アスリートの潜在能力をもっともっと引き出せるように、沢山の機会や経験が必要なことがわかりました。
○文化・スポーツからみて、とても素晴らし活動だと思います。これからの発展を期待します。今後の活動に対して協力し、そして応援いたします。

司会の菅野一馬さんの感想：

講演会の司会を担当しました。みんなの前で緊張しましたが、上手く対応できました。無事に終わって良かったです。
自己紹介では、「水泳、ボウリングに参加しています。昨年は希望郷いわて大会のボウリングに出場して、少年の部で金メダルを取りました。」と話しました。
有森裕子さんの話を聞いて、マラソンをしていて、体力が必要だと思いました。食事をいっぱい食べることが大事でした。
交流会はジャンケンをして、会場全体が盛り上がって面白かったです。

アスリートの阿部廉さんが有森理事長をエスコート

アスリートの岡田響さんが花束贈呈

【２部　有森裕子理事長との交流会】

会場から有森理事長への質問を募りました。アスリートの住吉谷穂佳さんが「毎日できるストレッチを教えて下さい」、小山田叡さんが 「マラソンで苦しい時に何を考えますか」菊池皓瑛さんが「どんな食事をとると良いですか」と手を挙げて質問をしました。有森理事長は笑顔で丁寧に質問に答えて壇上と会場の交流が深まりました。
さらに有森理事長と入場者の間でじゃんけん大会が繰り広げられ、勝ちの残った10名が有森理事長のサイン入りTシャツを手にしました。

じゃんけん大会の様子

岩手県合唱連盟名誉会長の太田代政男さんの指揮で、全員で合唱をしました。参加した多くのアスリートたちも登壇し「世界に一つだけの花」「ＢＥ-ＬＩＥＶＥ」を声高らかに歌い、みんなが心ひとつとなりました。

ユニス・ケネディ・シュライバーデーイベント企画
2017年度　SON・岩手　ボッチャ交流会

スペシャルオリンピックス日本・岩手では、ユニス・ケネディ・シュライバーデー(*)に障がいのある人とない人が一緒にスポーツを通じて交流するイベントを企画しています。今年度は10月28日（土）午前10時より、仁王小学校体育館でボッチャ交流会を行いました。

岩手大学の学生さんをはじめボランティアの皆さん、仁王小学校の児童、岩手県教育委員会からのご来賓、そしてアスリート、ファミリー、運営委員、総勢40名が参加しました。 アスリートとボランティアの皆さんは、ボッチャのゲーム以外にも、進行役やそれぞれ役割をもって活動に参加しました。ふれあいランドの佐々木秀治さんの指導のもとで全員が真剣にプレーして、お互いに健闘を讃え合いながら笑顔が会場いっぱいに広がりました。

＊ユニス・ケネディ・シュライバーデー　とは

スペシャルオリンピックスの創始者ユニス・ケネディ・シュライバー（没2009年8月11日）の功績を記念して、スペシャルオリンピックス国際本部では「Play Unified to Live Unified (共にスポーツし、共に生きる)」をテーマに、障害のある人とない人が共同で行う活動を展開している。

アスリート宣言：　佐々木　威彰
休石　周平

「ボッチャ交流会に参加して」

１０月２８日、ボッチャ交流会がありました。

私は、開始式の司会をしました。母と練習した様に、パートナーの岩大生の谷口輪さんと司会を進めることができました。

ボッチャのゲームの時は、谷口さんが、的玉を狙って高く投げるといいと教えてくれました。おかげで、私の投じた球が試合を決めるポイントになって嬉しかったです。結果は３位でしたが、最後まで楽しむ事ができました。来年もまたボッチャ交流会に参加したいです。

＜アスリート　小山田　叡＞

10月２８日(土)仁王小学校体育館でSON・岩手ボッチャ交流会がありました。最初にふれあいランド岩手のスポーツ担当の佐々木秀治さんから説明を聞きました。その後、チームごとに対戦しました。ボールが強すぎて止まらなかったり少し失敗したところもあったけど、みんなで楽しくボッチャがやれて良かったです。結果は、第１グループで私達のAチームが１位でした。とても嬉しかったです。

閉会式で大学生の郁美さんと一緒に司会をしました。少し緊張したけど上手に言えてよかったです。表彰式でメダルをもらいました。コカ・コーラのキーホルダーももらえて嬉しかったです。来年もまた皆と一緒にボッチャがしたいと思います。

＜アスリート　菊池　茜＞

楽しかったです。
来年も参加したいです

ふれあいランド岩手の
佐々木 秀治さん

バスケットボール　コーチクリニック

講師：大山 祐太さん

８月２７日(日)ふれあいランドいわてを会場に、バスケットボールコーチクリニックとゼネラルオリエンテーション＆アスリート理解が行われました。

バスケットボールコーチクリニックとアスリート理解をSON・北海道の大山祐太ローカルトレーナー、ゼネラルオリエンテーションをSON・山形の根津良伸ローカルトレーナーに講師としてお迎えしました。会場を借りる都合で、時間の限定される短めの日程となってしまいましたが、障がいの理解、実際のプログラムに生かせる内容のたくさん盛り込まれた、とても充実したコーチクリニックでした。

講師：根津 良伸さん

2017年北海道・東北ブロック会議及び「認定コーチ研修会」

○下半期事務局長・スポーツプログラム委員長会議

2017年北海道・東北ブロック「下半期事務局長・スポーツプログラム委員長会議」が９月２日に盛岡駅前北通のアイーナの研修室で15人が参加して行われました。

この会議は、同ブロック内で毎年地区の持ち回りで行っているもので、今年度は岩手が幹事地区となりました。会議では「2018年度活動計画の方針」「地区組織自己評価基準の改正」「情報交換」を議題に活発な意見交換が行われ、とても有意義なものとなりました。

会議終了後は、会場を盛岡駅前の居酒屋に移し懇親会を開き、親交を深めました。

○認定コーチ研修会

翌日の９月３日に中野一丁目の盛岡スターレーンで岩手の10人を含む25人が参加し同ブロック認定コーチ研修会が行われました。

研修会ではボウリングの「プログラムクリニック」と「ユニファイドスポーツ」の２つの科目を行いました。「プログラムクリニック」では宮下和彦トレーナーを講師にボウリングプログラム参観と講義、「ユニファイドスポーツ」では園部さやかトレーナーを講師に講義を実施。参加した皆さんは今後の活動に役立てようと熱心に学んでいました。

ボウリングプログラムクリニック
（参観・研修）

講師：宮下 和彦 さん、　園部 さやか さん

ユニファイドスポーツについて

ナショナルミーティング2017 アスリートストーリー全国発表会（in愛知）

８月５日(土)愛知県名古屋市の名古屋学院大学でナショナルミーティング2017アスリートストーリー全国発表会が開催されました。全国のアスリート13人が出場し、SON・岩手からは住吉谷穂佳さんが発表しました。

住吉谷さんは最初に登壇し、水泳やゴルフなどのプログラムで頑張っていること、SON・岩手の仲間と楽しく交流していることなどを明るく発表し「みんなで一緒に前へ進もう」と呼びかけました。

ユースアクティベーション(ユニファイドの取り組み)活動やファミリーレポートの発表、懇親会などもあり、全国から集まった人々との和やかな交流が生まれました。沢山の経験ができるよい機会となりました。これからも岩手のアスリートが次々と参加してほしいと思います。

SON・岩手　啓発活動

啓発活動のお陰でSON・岩手の活動が広がっています。

★5月16日（火）平野理事長が保険外交員の集い「JAFA報告会」に出席しました。（ﾌﾟﾗｻﾞおでって）約70人の参加者にｽﾍﾟｼｬﾙｵﾘﾝﾋﾟｯｸｽの活動内容を紹介し、賛助会員募集に理解を呼び掛けました。

呼び掛けに応じて新たな賛助会員が生まれています。

★6月13日（火）平野理事長がいわて生協通常総代会に出席しました。（ｱｲｰﾅ・7階ﾎｰﾙ）

SON・岩手への支援への感謝を述べました。

★7月19日（水）ﾄﾖﾀﾚﾝﾀﾘｰｽ岩手「福祉事業支援ｾﾐﾅｰ」に参加しました。（盛岡ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ）

ｽﾍﾟｼｬﾙｵﾘﾝﾋﾟｯｸｽの活動について参加者に説明し、広く理解を求めました。

★SO支援仕様（ﾃﾞｻﾞｲﾝ）の自販機第1号が盛岡白百合学園に設置されました！

なお、「SON・岩手」応援自販機の契約は、岩舘電気、高光建設、トヨタレンタリース岩手と契約済みです。今後も増やしていく予定です。

皆様の御協力をお願い致します。

白百合学園に9月6日
御礼の訪問をしました。

★9月24日（日）ｲｰﾊﾄｰﾌﾞとっておきの音楽祭のﾌｨﾅｰﾚに、SON・岩手の田口副理事長とｱｽﾘｰﾄ・ﾌｧﾐﾘｰが参加しました。（もりおか歴史文化館前広場）

事務局・各委員会より

会員の皆様に、いずれかの委員会に所属していただきたいと願っています。ご協力お願いいたします！

スポーツプログラム委員会から

今年度は、８月にバスケットボールコーチクリニックとGO・A、９月に認定コーチ研修会、１０月にはSON・岩手地区大会の開催と、開催行事の盛り沢山のSP委員会の活動でした。２年ぶりに開催した地区大会は、水泳競技会とボウリング競技会の２競技で行われ、３０名を超える多くのアスリートが日頃のプログラムでの練習の成果を発揮して活躍する姿が見られました。次年度も地区大会とコーチクリニックの開催を予定していますので、多くのアスリート、ボランティアの参加をお願いします。

＜ＳＰ委員長　岩渕　昌文＞

ファミリー委員会から

今年度もコーチ・ボランティア・ファミリーの方々のお陰で、プログラムや色々な活動を無事に終える事ができました。

今年は新しいアスリート・ファミリーの方々の加入があり、また新しい多くの繋がりができました。来年の活動も楽しみです。

12月には皆さんへの感謝をあらわすサンキューパーティーが盛岡ブランチであり、ファミリー委員一同楽しいパーティーになるように頑張って準備しています。

これからもファミリーとしてアスリートの自立を見守り応援していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

＜ﾌｧﾐﾘｰ委員長　佐々木 さやか＞

ボランティア委員会から

今年は10月に水泳競技会、ボウリング競技会、ボッチャ交流会と3つの行事が重なり大変ハードな月となり、各行事に係っていただいたボランティアの皆様には深く感謝申し上げます。10月に集中したため、毎年多数のボランティアをお願いしている専門学校さんの行事と重なり、ボランティアの学生さんの確保が難しい今年ではありましたが、皆さんのご協力で何とか対応できたことに安堵しております。来年にむけて競技会当日のボランティア、普段のアスリートのコーチのボランティアを募集しております。お近くの方で興味のある方がいらっしゃいましたら、お声かけ宜しくお願い致します。

＜ボランティア委員長　吉田　光男＞

＊今年、ボランティア・コーチ募集のチラシが出来ました。皆様お声かけ等にご活用ください。

医療安全対策委員会から

今年度も各プログラムのコーチはじめ、ヘッドコーチ、ファミリーの皆様のお陰で安全に楽しく活動できていることに感謝しております。そして改めましてファミリーの皆様へお願いがあります。それぞれのプログラムの活動会場に集合した際には、アスリートのその日の健康状態やいつもと様子が違うとき、コーチやヘッドコーチに伝えて下さい。(例えば、文化祭等の行事や帰省で疲れているとか、今日は寝不足のようだとか・・・etc)

我が子以外のアスリートについても様子や顔色が心配だと気付いた時は、遠慮なく話していただけると助かります。活動中に配慮でき、様子の変化にもスムーズに対応できると思いますので、これからもご協力よろしくお願い致します。

＜医療安全対策副委員長　小山田あや子＞

財務委員会から

財務委員会の主な仕事は、アスリートが十分に活動できるように財政面で支援することと考えております。そのため、次の三つの事業を行ってきました。

1. 多くの人々にスペシャルオリンピックスについての理解を深めてもらい、賛助会員を増やしていく。
2. イベントを企画し、理解を深めるとともに活動資金を得る（今年度はＳＯＮ理事長 有森裕子後援会）
3. コカ・コーラボトリング社の支援として、自販機の設置による売上金の一部を寄付してもらう。（5月～10月　35,591円）

2018年度は、特に賛助会員の増加を目指して活動を展開していきたいと考えています。

＜財務委員長　舘澤　徳平＞

＊イベント等で、SON・岩手のTシャツ・ポロシャツを頒布しています。

広報委員会から

今年も記録会、イベント、日常のプログラム、そして２年ぶりに地区大会がおこなわれました。広報委員会で取材しきれないところは、応援ファミリーや運営スタッフの皆様に写真撮影のご協力を頂きました。本当にありがとうございました。アスリートの輝いている瞬間を切り取った写真がたくさんあります。どれも広報スマイルに使いたいのですが、ごく一部の掲載になっています。写真データは事務局に保管されています。貸し出せますのでどうぞご覧下さい。

＊広報委員会では、広報活動に伴うお便りや広報誌の発送作業をお手伝いしていただける方を募集しています。

＜広報委員長　住吉谷　文子＞

【斎藤　収さん】

今年の夏からボランティアとして、斎藤収さんが大会やイベントで写真撮影をしてくださっています。

事務所には、斎藤さんが撮った水泳競技会集合写真を大きく引き伸ばして飾ってあります。(印刷も斎藤さんがしてくださいました)

2018年第７回スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム・愛知

開催日程：９月２２日（土）　開会式
９月２３日（日）　競技(予選：ﾃﾞｨﾋﾞｼﾞｮﾆﾝｸﾞ)
９月２４日（月・祝）競技(決勝)/表彰/閉会式
開 催 地 ：愛知県内各所 (名古屋市、豊田市、刈谷市を予定)
参加者数：約16,400名
実施競技：（予定）13競技
水泳競技、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、卓球、テニス、バレーボール、フライングディスク

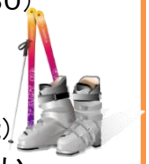
＊SON・岩手も選手団の派遣を予定しています。

応援をよろしくお願い致します。

2018年冬季プログラムの予定

アルペンスキー・スノーボード・スノーシューイングのプログラム実施を予定しています。

実施日程・・2018年1月～2月の土・日・祝日のいずれかに実施予定（参加希望者に後日連絡）
時　　間・・10:00～15:00（集合9:30）
会　　場・・下倉スキー場、他
費　　用・・リフト代（リフト使用時）
服　　装・・ウエア、用具
（スノーシューは貸し出し可能）



＊詳細は事務局にお問い合わせください。

◎2018年度SON・岩手　プログラム活動予定と募集について

水泳	水泳	水泳	陸上	バスケット	ボウリング	ゴルフ
大船渡市 Y・Sｾﾝﾀｰ	盛岡市立 総合プール	ふれあい ランド岩手	ふれあいラ ンド岩手、他	大船渡市 福祉の里ｾﾝﾀｰ	盛岡 ｽﾀｰﾚｰﾝ	サンゴルフ 松園、他
第2、4 水曜日	土曜不定期 別途連絡	第2、4 日曜日	5月～10月 日曜不定期	第2、4 日曜日	第1、3 日曜日	5月～10月 別途連絡
18:00~20:00	16:00~18:00	13:00~15:00 14:00~16:00	10:00~12:00	13:00~15:00	10:00~12:00	10:00~12:00

＊プログラム参加希望または詳細内容を知りたい方は、事務局までご連絡ください。
＊スポーツコーチ・ボランティアとしてアスリートとスポーツを楽しんで頂ける方を随時募集しています。 スポーツの苦手な方でもアスリートのお世話や必要な補助をしてくれる方大歓迎です。（問い合わせ：SON・岩手事務局）

スペシャルオリンピックス(so)は非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています

＊スペシャルオリンピックス日本・岩手をご支援頂いている皆様（２０１７年１月～２０１７年11月受付分）＊

（※SOﾒｲﾄ→）　**北翔会、岩舘電気㈱、オーエム通商㈱、㈱高光建設、 みちのくコカ・コーラボトリング㈱、吉田 等明**

いわて生活協同組合 、岩手トヨペット㈱、㈱トヨタレンタリース岩手、富士ゼロックス岩手㈱

㈲渥美工務店、㈱泉商店 、㈱岩手朝日テレビ、NTT東日本岩手支店、㈱キムラ、東北電力㈱岩手支店 、盛岡ガス㈱、㈱モリレイ、吉村 智恵・彰悟、菱和建設㈱

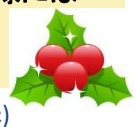
大伸工業㈱ 、島田 邦守 、㈱岩手日報社 、小林 一、国際ソロプチミスト盛岡、三寿司、隅田 清 、㈱ソニックジャパン盛岡支店、㈱たぐちメディカル、東北住建㈱、東北電力労働組合岩手県本部 、㈱中原商店、盛岡ターミナルビル㈱、盛岡ライオンズクラブ、

佐藤 由美子、冨塚 ツヤ子、岡村 房子 、田中 大作、辻 裕子、平野 ユキ子 、稲荷場 裕 、小野寺 耐子、川村 陽子、熊谷 紀子、熊谷 晴子、佐藤 栄子、佐藤 薫、佐藤 優美子 、鈴木 礼子 、達下 雅一 、鏑 由喜子、中田 廉平、長葭 千恵子、野田 武則 、畠山 ひとみ、藤原 喜子、三浦 志津子 、村井 研一郎、山本 京子、吉野 千登勢 、吉村 正博、吉村 綱起、吉村 智恵、斉藤 淳子、米澤 利次
（以上、敬称略 ）

※SOﾒｲﾄとは、SON(スペシャルオリンピックス日本）本部で定められた基準で、法人・企業等賛助金の名称です。SOﾒｲﾄでは、1口10万円が基本となります。SOﾒｲﾄとして協賛していただく場合は、この金額設定をお守り下さい。地区組織のSOﾒｲﾄは、スペシャルオリンピックス日本 ニュースレターRainbow、総会資料、また、ホームページ等でも法人・企業・個人の御芳名を掲載させていただきます。

＊期間内に入会された方でも事務処理上の理由で、お名前の掲載が遅れることがありますことをご了承ください

**皆様との出会いに心から感謝いたします。心温まるご支援、ご協賛を賜りました団体及び個人の皆様には厚く御礼申し上げます。
これからも何卒よろしくお願いいたします。**



＊ニュースレターの印刷は富士ゼロックス岩手(株)のご協力を頂きました。

＊問い合わせ先＊
〒020－088 岩手県盛岡市紺屋町4－24
Tel/Fax ： 019－613－5277
E-mail ： son_iwate@son.or.jp
月曜日と金曜日　10:00～15:00 在局
NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・岩手 事務局